

## 令和2年度 教育企画委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長： 矢吹浩子 副委員長： 向井美千代 委員： 日野千奈美・芝崎閑・丸岡洋子・鈴間由里子・松田絵利子・北野貞・長崎麻子</p>
<p>■開催回数</p>	<p>4回</p>
<p>■活動目標</p>	<p>1. 資質向上につながる教育研修計画立案のために、現場および会員の視点で協議を行う。 2. 教育研修の実施状況を確認し、教育計画を評価する。</p>
<p>■活動内容</p>	<p>1. 資質向上につながる教育研修計画立案のために、現場および会員の視点で協議を行う。</p> <p>1) 教育計画に対する会員・現場のニーズを見出すため、大学・公的病院・民間病院・介護施設・行政等それぞれの立場から意見交換を行った。</p> <p>(1) e-mail を活用して意見を収集した後、Web も利用した会議で意見を集約した。 (2) 会員施設対象アンケート調査の具体的な内容とスケジュールを計画した。 (3) 調査は日本看護協会クリニカルラダー各1名ずつと教育担当者の5名/施設とし、それぞれ、「開催されれば参加したい」研修項目を選択することとした。</p> <p>2) 教育認定部が立案した教育研修計画の素案が、会員・現場のニーズに沿っているかを検討した。</p> <p>(1) 1) - (1) で検討。テーマで参加意欲につながる工夫が必要ではないかという意見が多数あった。ニーズに関しては1) - (3) の調査結果を分析することにした。</p> <p>2. 教育研修の実施状況を確認し、教育計画を評価する。</p> <p>1) 教育認定部からの報告により教育研修の実施状況を把握し、教育研修計画の評価を行い、次年度への課題を抽出した。</p> <p>(1) 今年度はこれまで新型コロナウイルス感染症対策のため、中止、延期、オンライン研修に変更した研修が多く、オンライン研修のメリット・デメリットなどの議論をした。1-1) - (2) で、ハイブリッド研修にした場合に会場参加とweb参加のどちらを希望するかを問うことにした。</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>e-mail で事前に議題関連の情報を集めておくことにより、現在までスムーズに進行できている。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>コロナ禍に対応した研修の方法を検討する必要がある。</p>